

未来に向かって環境のトータルアドバイザー

RIKKA REPORT

立華工業株式会社 静岡県富士市本市場 422 01 〒416-0906 : 清水営業所
TEL 0545-61-8402 FAX 0545-63-9654 URL <http://www.rikka.co.jp> E-mail info@rikka.co.jp

厚生労働省より、平成23年度「化学物質のリスク評価検討会」の
検討結果を踏まえた

「化学物質による労働者の 健康障害防止措置に係る検討会」

の報告書が公表されました。

公表された内容の主な点は、検討対象とした

『エチルベンゼン』は有機溶剤中毒予防規則による規制

『インジウム及びその化合物』及び

『コバルト及びその化合物』は、

特定化学物質障害予防規則による規制が必要とされています。

★規制導入のスケジュール（最も早い時期を想定した場合）

平成24年1月以降 規制改正案についてパブリックコメントを実施

平成24年春 改正政令、規制の公布

平成24年夏以降 改正政令、規制の施行（一部猶予）

レポートのお問い合わせは、下記担当部署にお願いいたします。

富士本社 富士市本市場422の1

TEL 0545-61-8402 FAX 0545-63-9654

★作業環境測定

富士本社 分析1課

中西正彦、青柳容子

★局所排気装置・プッシュプル型換気装置 排気対策

富士本社 環境技術部

尾崎克年、後藤明雄

★富士本社 営業部

望月久彰

1. エチルベンゼン

エチルベンゼン含有物を用いた塗装作業による健康障害を防止するために、有機溶剤中毒予防規則の第2種有機溶剤に加え、特定化学物質障害予防規則の特別管理物質と同等の措置を講じるとともに、船体ブロックの内部のように発散面が広い等により局所排気装置の設置が困難な場合は、全体換気装置の設置、十分な防護性能を持ったマスク着用の義務付け、さらに粉じんが混在している場合には防じん機能を有する防毒マスクを使用する案が出されています。

1) 用途

スチレン単量体の中間原料、有機合成、溶剤、希釈剤

2) 作業概要

主な作業名	作業の概要
造船における塗装作業	船舶建造過程における塗装作業。大型の塗装ブース又は屋外でスプレーや刷毛塗りによる船体ブロックなどの塗装
自動車や建機などの機械器具製造業における塗装作業	工場内での塗装作業。フローコーターなどによる自動塗装や手吹きによる吹付塗装

2. インジウム及びその化合物

インジウム化合物の吸入性粉じんによる健康障害を防止するために、特定化学物質障害予防規則の第2類物質及び特別管理物質と同様の措置を講じるとともに、呼吸用保護具着用の義務付け、床の清掃や作業場外への持ち出しを防ぐ「二次発じん防止措置」を講じる案が出されています。

1) 用途

<インジウム>

銀ロウ、銀合金接点、ハンダ、低融点合金、液晶セル電極用、歯科用合金、防食アルミニウム、テレビカメラ、ゲルマニウム・トランジスター、光通信、太陽熱発電、電子部品、軸受金属、りん化インジウム結晶の原料

<三塩化インジウム>

透明電極材料用原料

<りん化インジウム>

りん化インジウム単結晶の原料

<インジウム・スズ酸化物>

ITO ターゲット原料、薄型ディスプレイ等の透明電極材料

2) 作業概要

主 な 作 業 名	作 業 の 概 要
ITO ターゲットの製造	金属インジウムから酸化インジウムを製造し、酸化スズと混合して焼結、平面研削、ボンディング
廃ターゲットから金属インジウム製造(リサイクル)	使用済みターゲットを粉砕、溶解、インゴット製造
フラットパネルディスプレイ製造工程におけるITOを用いた薄膜形成(スパッタリング)	密閉装置内でITOターゲットを用いて硝子板などにITO薄膜を作成。ターゲットが摩耗してきたら交換、装置内の清掃

3. コバルト及びその化合物

コバルト及びその化合物の粉じんヒューム、ミスト等による健康障害を防止するために、特定化学物質障害予防規則の第2類物質及び特別管理物質と同様の措置を講じるとともに、床の清掃や作業場外への持ち出しを防ぐ「二次発じん防止措置」を講じる案が出されています。

1) 用途

<コバルト>

磁性材料、特殊鋼、超硬工具、触媒

<塩化コバルト>

乾湿指示薬、陶磁器の着色剤、メッキ、触媒の製造、保健用医薬品、毒ガスの吸着剤

<硫酸コバルト>

コバルト塩の原料、蓄電池、メッキ、ペイント・インクの乾燥剤、陶磁器の顔料、触媒

<硝酸コバルト>

石油化学触媒、各種コバルト触媒原料

<炭酸コバルト>

陶磁器着色剤、有機合成触媒、サーミスター原料

2) 作業概要

主 な 作 業 名	作 業 の 概 要
コバルト含有金属の製造	金属コバルトと他の原料を混合し、溶融、鋳込み、切断、研磨など
コバルト化合物の製造	原料を投入し、製造したコバルト化合物の晶析、分離、袋詰め
コバルト化合物を用いた他製品の製造	コバルト化合物の粉体を反応槽に投入するなど
コバルト含有メッキ作業	コバルト化合物をメッキ液に投入し、電極位置の調整するなど
コバルト触媒の使用	粉体又は液体の触媒を反応槽に投入するコバルト担持触媒の経年劣化に伴う交換